

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *



令和7年第22週 (5月26日～6月1日)

インフルエンザB型の報告が増えました

今週の竹田市調査医療機関からの報告数は、8名となり、先週の1名から増加しました。罹患者は、すべて15～19歳の年代となっており、全例インフルエンザB型の報告でした。大分県全体では、0.50と先週の0.91から減少傾向です。

通常、インフルエンザは冬季(12月～3月)に感染者が多くみられますが、初夏に感染することもあり、その場合はインフルエンザB型が多いとされています。初夏は、修学旅行や運動会などの行事が多く、接触する機会が多くなることが原因の一つとして考えられています。また、気温差が大きく、体調を崩しやすい時期でもあります。

感染を広げないためには、手洗いやうがいなどの基本的な感染対策と咳エチケットに気をつけましょう。室内のこまめな換気も重要です。エアコン使用時などは、定期的に換気を行い、閉め切った状態が続かないようご注意ください。



梅毒にご注意ください

梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体によって感染する病気です。近年、日本で梅毒の感染者が急増しています。梅毒は口や性器などの粘膜や皮膚から感染しますが、感染に気づきにくいことから、治療の遅れや感染拡大につながりやすいといわれています。また、妊娠している女性が感染すると、流産や死産のリスクが高くなったり、赤ちゃんが梅毒にかかった状態で生まれる「先天梅毒」になることがあります。陽性の場合、適切な治療を受けることで赤ちゃんが先天梅毒となるリスクを減らすことができるため、早めの検査・治療がとても大切です。

豊肥保健所では、無料・匿名で検査を行っています。原則、第2・4水曜日の9～11時に予約制となっており、同時にHIV・B型肝炎・C型肝炎・性器クラミジア感染症の検査も受けることができます。気になる方はご相談ください。(0974-22-0162)

(第22週) (調査医療機関8か所の総患者数：ただし1医療機関は休診中)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結核熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳																			
4～6歳																			
7～9歳																			
10～14歳																			
15～19歳		8																	
20歳以上								1											
今週	8							1											
70歳以上(再掲)	8																		
先週		1					1	5				1							

